

ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

初夏の太陽がまぶしいこの頃です。皆様お元気でいらっしゃいますか。PHJ メールニュース 2012 年 5 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員 (オブザーバーとして出席されている方を含む) の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 5 月号目次

- 1. PHJ 本部のニュース
 - 1-1. 「東日本大震災」の寄付金の報告
 - 1-2. 今年も Giving Back to Japan に参加しました
 - 1-3. 広報サポートスタッフの募集
 - 1-4. スタッフブログ

- 2. PHJ タイ事務所のニュース
 - 2-1. 子宮頸がん・乳がん検診推進事業
 - 2-2. HIV・AIDS 予防教育

- 3. PHJ インドネシア事務所のニュース
 - 3-1. 母子健康改善活動 ーバンタン州セララン県テイルタヤサ自治区
 - 3-2. 地域医療システム強化 ーテイルタヤサ自治区
 - 3-3. 栄養改善活動 ーテイルタヤサ自治区

- 4. PHJ カンボジア事務所のニュース
 - 4-1. 健康な村づくり事業 ーコンポントム州
 - 4-2. トゥクトゥク利用状況
 - 4-3. 助産師トレーニング事業 ープレイベン州

.....
1. PHJ 本部のニュース

1-1. 「東日本大震災」寄付金の報告

PHJ では 2011 年 3 月 15 日から全日本病院協会(全日病)と提携して、被災地支援の募金を行っております。2012 年 4 月 30 日までに頂いた現金寄付金額は 6,700 万円、医療機器・事務機等の商品寄付は 17,500 万円でした。医師派遣、医療機器の調達などに 4,300 万円、医療機器・事務機の調達に 17,500 万円、輸送費・スタッフ活動費に 1,200 万円を支出し、残額 1,200 万円を復興支援に

使う予定です。

PHJのチームは4月24、25日に被災地を訪問し、第2次復興医療支援について確認してきました。この報告は東日本大震災ブログをご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53614180.html

1-2. 今年も Giving Back to Japan に参加しました

昨年4月に開催された東日本大震災支援のイベント Giving Back to Japan で、PHJは、医療救護班の派遣、診療施設へのIT支援、電子カルテの寄贈などについて紹介しました。

今年も5月16日、オランダ商工会議所、Tohoku Planning Forum、ヨーロッパ各国商工会議所主催で、Giving Back to Japan 2 が開催されました。被災5市町村の長による復興の状況、現在のニーズ、支援の方法などのプレゼンテーションとパネル・ディスカッションの後、出席者のネットワーキングの集まりが開催されPHJは被災地の医療施設の復興支援についてパネルで紹介し、出席者の方々にさらなる支援をお願いする機会を得ました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53643469.html

1-3. 広報サポートスタッフの募集

本年6月中旬から来年3月末までの期間、PHJの広報活動をサポートして下さるアルバイトを募集しています。週平日3日でブログ、ホームページの更新、広報誌やパンフレットの編集、配布、イベントのアテンド、募金の入力作業などが主な仕事です。

1-4. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシアの様子をスタッフがお知らせしています

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

.....

2. PHJタイ事務所のニュース

2-1. 子宮頸がん・乳がん検診推進

4月にはドーイサケット郡で6回、サンサイ郡で5回（合計 子宮頸がん（CC）1422名検診、乳がん（BC）自己触診1629名）検診キャンペーンを実施（より多くの女性が参加できるように土日にも実施）。その他、各病院が自主的に検診を実施（CC検診321名、BC触診1,129名）しました。

外務省の助成金を得て行っているこの事業の第3期の活動地ハンドン郡、ドーイサケット郡にて事業オリエンテーションを実施。3年目の活動計画を立案中です。

4月20日、在チェンマイ日本総領事館に第2期中間報告書を提出しました。

またチェンマイ保健局長とデータ収集責任者、ナコンピン病院の医師と3年目の活動について面談しました。

2-2. HIV/AIDS 予防教育事業

4月4日サロン町で高校生を対象に出張ピア教育を実施しました。

.....

4月5日にはスモールスケール事業の年次会議を実施し、1年生に教育を行うことの重要性や、10大学へ規模を拡大したいとの要望、またコンドームボックス内の避妊具の盗難などの課題について話し合いました。そのほかチェンマイ県内の政府関係者やNGO関係者のためのHIV/AIDS予防についての会議に参加しました。

5月11日にはサロン町の高校生50名に出張ピア教育を実施しました。

.....

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 保健・母子健康改善活動 —テイルタヤサ自治区

4月の保健教育の共通テーマは出産の兆候と産後に気を付けることでした。妊娠中、授乳中は野菜などを多く摂取し、母乳をでやすくするなどがとりあげられ、出席した女性たちからは「ほかの人の経験を聞けるので月例が楽しみ」などの嬉しいコメントも頂きました。参加者は妊婦126名を含め324名でした。

3-2. 地域医療システム強化 —テイルタヤサ自治区

トウンクラック村で建設されていた第5号のポスケステス（診療所）は4月2日に仮オープンし、既に2件の出産に対応しました。5月16日に支援企業の代表を迎えて正式にオープンしました。

3-3. 栄養改善活動 —テイルタヤサ自治区

2010年4月から味の素AIN助成金を受けて実施していた2年間の栄養改善活動は3月で終了し、5月8日に現地で企業の代表に対し報告を行いました。

3月に実施したメニューコンテストのメニューをもとに3村で栄養教育・調理実習を実施。子供を含め90人が参加しました。

第1期菜園事業は3月末で終了し、コンテストの結果上位4村の成績は僅差で、結果発表・表彰式は5月8日の企業現地視察にあわせて実施しました。

菜園事業では山羊、羊対策は有効でしたが、鶏、ねずみによる被害にひと工夫が必要なが分かりました。またある小学校から、野菜を育てることを教育の一環に取り入れたいので、校庭の空き地で菜園活動をしてほしいとの提案もあり、検討します。スタッフブログで菜園事業の報告をご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52073260.html

.....

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4月はカンボジアでは暑い乾季の真っ盛り、また仏暦の正月にもあたり活動にも影響がありました。また長時間にわたる停電が続発し、業務に支障が出ています。

4-1. 健康な村づくり事業 —コンポントム州

保健センター運営改善：3保健センターでスタッフ会議が開催され、PHJスタッフが課題解決等にフィードバックしました。

村人が衛生的な生活を実践：1月にトイレ建設資材の支援を行った4村60世帯中ほぼ全世帯でトイレが完成し、きれいに使っていることを確認しました。多くの世帯でコンクリートの建屋を作って

います。

保健教育活動：村での保健教育は14回実施。予防接種、家族計画、デング熱がトピックで663名が参加しました。前後での確認テストでは38点から78点に向上しました。

村と行政サポートのネットワーク支援：保健センター運営委員、保健ボランティア会議の出席率は43%と低調。PHJが育成した母子保健ボランティアの出席に限られ、全体の出席率が低くなりました。患者の権利や妊婦の鉄剤服用について情報交換が行われました。

4-2. トゥクトゥク利用状況

搬送サービス：3月よりサービス開始したトゥクトゥク2台の4月の利用は6回8名でした。5回は出産のための搬送、内3回は異常分娩が疑われたケースです。搬送途中、カート内で無事に出産という初めてのケースもできました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52084016.html

4-3. 助産師トレーニング事業 –ブレイベン

4月には活動はありません。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年5月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2012ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####